

「地域住民とともにつくる“よしだ”REALあるあるワークショップ」

益田市 吉田公民館

1 吉田地区の概要

益田市の北西部に位置し、JR山陰線とJR山口線が合流する益田駅があり、行政、オフィス、店舗、医療機関が集中している市の中心部である。

人口は市全体の約3割にあたる約14,000人を有する。市内にある20地区で一番子どもの数が多い地区である。

学校は小学校が2つ、中学校は1つである。高校は無い。自治会数は39自治会、連合自治会に加入している自治会は37自治会、加入していない自治会は2自治会ある。

2 事業の趣旨

人口14,000人を抱える吉田地区は、地区内にある自治会別に見ても人口、世帯数、高齢化率など様々であり、地区全体の現状を掴むには非常に困難な地区である。人のつながりの希薄化、生活スタイル・価値観の多様化、住む人の入れ替わりの多さなど、地域課題を自分ごととして考えにくい背景がある。

地域課題を自分ごととして考えてもらうためのつながりづくり、地域を担う次世代の発掘と育成、公民館事業の活性化を目的に事業を行った。

3 具体的な取組内容

20代、30代、40代、50代、60代と年代別のワークショップを開催した。年代別に想定される困りごとや悩みごとをテーマに意見交換や情報交換をした。

参加者より出されたアイデアを元に今

年度もしくは次年度以降に公民館の講座として事業化する。

(1) 20代ワークショップ

ア アイスブレイク（恋札ワーク）

イ 対談形式のゲストスピーカートーク（テーマ：野球、Uターン、ふるさと、建築、20代ならではの、家族）

ウ フリートーク

エ 感想共有（企画してほしい講座アイデアもそえて）



(2) 30代ワークショップ

ア 自己紹介（参加した理由も）

イ 対談形式のゲストスピーカートーク（テーマ：仕事、子育て、素の自分）

ウ フリートーク

エ 感想共有（企画してほしい講座アイデアもそえて）



- (3) 40代ワークショップ
 ア 自己紹介（参加した理由も）
 イ テーマごとに分かれて意見交換
 （テーマ：家族、暮らし、趣味）
 ウ 感想共有（企画してほしい講座アイデアもそえて）



のグルメや観光について話そう（東洋医学の話と益田市近隣の観光スポット、グルメの紹介）



(7) 公民館紹介冊子作成

- (4) 50代ワークショップ
 ア 自己紹介（参加した理由も）
 イ ゲストスピーカートーク（テーマ：島根で初めて体験したこと）
 ウ フリートーク
 エ 感想共有（企画してほしい講座アイデアもそえて）

- (5) 60代ワークショップ
 ア 自己紹介（参加した理由も）
 イ ゲストスピーカートーク（テーマ：終活）
 ウ もしバナゲーム
 エ フリートーク
 オ 感想共有

- (6) 参加者のアイデアから実施した講座
 ア はじめてのマイホームのためのお話（マイホームを建てる時に必要な知識や情報について学ぶ）
 イ くちビルディング選手権®（口腔機能をゲーム形式で楽しみながら鍛えるイベント）
 ウ 薬膳のお茶を飲みながらおススメ

4 評価と成果

- 年代別の人と人との繋がりが深くなる。
- 地域の課題を自分ごととして考える人が増えた。
- 地域の年代別キーマンとなりうる人の発掘ができた。
- 活地域住民の実情がより反映された公民館事業のアイデアがもらえる。
- 成果の冊子は公民館事業を企画するための手引きとなり、公民館の広報にも役立つ。
- 地域住民のリアルな困り事や悩み事の具体的な解決に繋がる講座づくりができた。

5 今後の課題と見通し

- 来年度もこのワークショップで出たアイデアを元に講座を企画する。
- 20代と50代など異年代が繋がる講座を企画する。
- 今年度のワークショップに参加してくれた方に継続的に関わってもらえるよう、講師、講座企画をしてもらえるよう声かけをする。

（文責：主事 八坂美恵子）